

2014年8月8日(金) 11:00~11:50 公益財団法人 日本陸上競技連盟  
訪問レポート 大橋、多兎、酒井

事務局長 風間明氏、運営企画部課長 鈴木秀穂氏 応対

大橋さんより手わたす会のこれまでの経緯をざっと説明して、質問項目を伝えた。

- ◎望ましい競技場の姿とは
- ◎改修では何が無理なのか?
- ◎レーンの数と幅
- ◎味の素スタジアムはどのようなのか?
- ◎新国立競技場のサブトラックについて
- ◎新国立競技場は、経済的に使えるのか
- ◎新国立競技場児について事前にヒアリングはあったのか
- ◎屋根を掛けることについて

最初の30分は 風間氏からの回答。

新国立競技場の改築に当たっては有識者会議に 陸連からも参加している。風間氏も出席した。陸連からは第一種公認競技場として、常設のサブトラックが必要であるという要望を出している。

コンペでザハ案が決定した時に 陸連からは 特にデザイン上の異議はとなえていない。

可動式屋根の件も、すでに大分でも公認しているので 問題にしていない。可動式屋根が競技に差しつかえがあるとは考えていない。

オリンピック終了後もインターハイ、中学校競技大会などから大きな大会まで開催するためには、サブトラックがないと開催できない。サブトラックは 競技者の安全を確保するために絶対に必要なもので、そこがサッカーなどの球技とは違う。大きな大会では1000人から2000人もの競技者が本大会会場と同じ条件のサブトラックで準備運動をする必要がある。

国際陸連、日本陸連としては 現在の新国立競技場案は 陸上競技場としての機能は網羅していて問題はないと考えている。

絵画館前のサブトラックが 仮設であることは承知している。森さんの組織委員会もサブトラック問題は今後検討しなくてはいけないと言っている。横川会長からは 組織委員会に対し、第二の開発で場所はどこでもいいから サブトラックを常設してくれと、要望を出している。申請ファイルでは仮設になっているが、常設を依頼している。

競技場とサブトラックの間は、味スタは150メートル、観客とクロスしないことが必要で、絵画館前は許容範囲だが決して近いとは言えない。移動は車になる。

久米設計の改修案について聞いたが、全く知らなかった。

久米設計改修案では サブトラックは 地下にあり、このことは JSCは 実現不可能な案であると笑い飛ばしていたが、久米設計案は知らなかった陸連でも 地下にサブトラックを置く案は提案したことがある。サブトラックは 本競技場に隣接していることが望ましく、絵画館前でも近いとは言えない。選手の動線と観客の動線は分離しなければいけないので、絵画館前だと 車での送迎になると 思われる。地下案はセキュリティーの面からも 大変良い案で、世界にも類例がない

のでもし実現したら世界に誇れると言っていた。

地下のサブトラックでは高さが足りないのではという質問には、もともとやり投げ(80メートルは飛ぶ)やハンマー投げなど危険なのでトラックの内側では行えないので、オリンピックでも 神宮第二球場を使用することになっているので問題はない。

サブトラックにも シャワー、マッサージ室、医療関係、計測設備など本競技場に準じた設備が必要。

オリンピック後の競技場の使用料金に関しては 使える現実的な金額になるようお願いしている。陸連の運営は 税金で賄われていると思われているようだが、企業の協賛金がほとんどで、一部、選手の強化費用、遠征費用などは 国の補助金を受けている。

可動式屋根に関しては 陸連としては賛成している。青天井では 風の影響で成績が左右される追い風、風速 2メートル以上では 公認記録とされない。向かい風はどんなに強くても公認記録とされる。

現競技場の ショートトラックの向きが向かい風になる場合が多いというのはなしもあり、いい記録が出にくいと言われている。トラックの向きを変えると貴賓席に西日が当たるとというのが理由かななどとも言われてるようだが、これはオフレコ。

現国立競技場は 陸連では最近ほとんど使っていない。これは我々の反省でもある。国立をえるような大会自体がなくなっている。国立離れが進んでいる。サブトラックがなくても以前は 国立だけは特別にサブがなくても日本選手権など開催していた。

東京体育館の横のトラックは 6 レーン、300Mで 1964年当時は 国際基準がなくてそれでもよかった。

ビックリ ニュース

9 レーンは必須条件ではない。8 レーンでも国際基準はOK. ただ 1 レーン(もっとも内側のレーン)は 使用頻度が高く、コースが荒れてくる。芝との境目に少し高くなった縁があるので、これを避けるために競技者が どうしても外寄りに走りがちで 1 レーンは嫌われる。そのため、9 レーン用意して 2 レーンから使うのが好ましい。味スタは 9 レーン。

1 レーンの幅は 以前は 125 センチ。今の国際基準は 122 センチで狭くなった。現国立は現在は 122 センチ。

外国の国際的なスタジアムで 8 レーンのところがあるかは 承知していない。

もっとも暑い時期の開催に関して陸連は問題にしていない。競技者はどのような条件下でもベストの状態に持ってゆくように訓練している。

マラソンは 本来冬の競技、ほかの競技は夏場が怪我が少ない。もともとベストシーズンの違う競技を 同時にするので 仕方ない。インターハイも 8 月に開催されている。

アスリートは 与えられた条件下で力を発揮するのが使命。海外遠征などではもっと過酷な条件下での競技はたくさんある。

風間氏が退出してから鈴木氏が残りの質問に答えてくれた。

多見さん、大橋さんが 鈴木さんは陸上をされているのですか・と質問し、まあ、少々と答えたのを、いかにも陸上をやってらっしゃるようなタイプですよ！と持ち上げて、それから 鈴木氏の

口も軽くなったようだ、お二人とも、その辺がお上手！

Q. 世界的には 陸上も球技もイベントもというマルチユースの競技場から単種目の専門スタジアムという傾向があるが、例えば 国立を球技専用にして 陸上は味スタを使うなどということは考えられないかという質問に対して

1990 年日産スタジアムで室伏選手の優勝記念で 40000 人。1991 年の世界陸上競技大会ではカールルイスの活躍など、国民が熱狂して国立も満員になった。今では とてもそのような集客は難しい。1991 年のレガシーを思えば さみしい。陸上は 日本ではマイナー競技だ。(泣くな鈴木！！)

Q. 陸連から見た好ましいスタジアムは どこか

全部知っている訳ではないので何とも言えないが、熊谷は評判が良い 20000-30000 人という規模もちょうどよく、サブトラックが隣接している。

以上、友好的な雰囲気を終始しました。

P S 陸連の玄関に 電通から送られた大きな 盛り花が。良いご関係のようです。

酒井・大橋・多見